

- 【 日 時 】 令和7年2月13日（木）19時から20時40分
- 【 場 所 】 佐世保市役所4階全員協議会室
- 【 出 席 者 】 委員 16名（全18名中）欠席者…河野委員・森委員
○関係者の出席（条例18条） 長崎大学歯学部教授 入江浩一郎
（事務局） 保健福祉部長・子ども未来部長・学校保健課・保育幼稚園課・こども発達センター・すこやか子どもセンター・医療保険課・障がい福祉課・長寿社会課・健康づくり課
- 【 会 次 第 】 1 関係者の出席について承認
2 議事・報告
・ベースライン値について
・入所施設アンケート調査結果について
・次期「実施計画」について
・若年者歯科健診事後アンケート結果について
3 閉会

■開 会

保健福祉部長より挨拶

資料確認

●議事録

1. 関係者の出席について承認
2. 議事・報告
3. 閉会

1 関係者の出席について承認

（事務局）

本日は事務局側に、今年1月1日付けで、長崎大学歯学部の教授としてご着任をされました、入江浩一郎教授にお越しいただいております。

入江教授には「佐世保市歯口腔の健康づくり推進条例」第18条における関係者の出席者ということで、委員の皆様にも協議会の出席についてご承認をいただければと思いますがいかがでしょうか。

～拍手で承認～

ありがとうございます。

それでは、本日の出席ということで議論の中において、後程、ご意見などいただけたらと思っております。

それでは、以後の進行は、「佐世保市歯口腔の健康づくり推進条例」第16条第2項により、豊屋会長にお願いしたいと思います。会長、どうぞよろしく申し上げます

2 議事・報告

それでは進行を務めさせていただきますよろしくお願いたします。

本日の本協議会の開催の目的と目標は、第二次佐世保市歯口腔の健康づくり推進計画の中間評価及び最終評価の際に用いるベースライン値を令和6年度までの最新値とするため、指標にある、高齢者及び障害者入所施設での歯科健診実施率を、把握するためのアンケート調査案について、設問項目の設定は適切であるか、委員の皆様からご意見を伺うこととしています。

まずは、その前に会次第により第二次佐世保市歯口腔の健康づくり推進計画について、事務局から報告をお願いします。

(事務局)

ベースライン値について

(差替え資料1)

【健康づくり課より説明】

(参考資料1) 第2次「佐世保市歯・口腔の健康づくり推進計画」において、令和12年度の間評価、令和16年度の最終評価の際に用いるベースライン値について説明。

- ・ベースライン値は、各指標によって、令和5年度の値を出すものと、令和6年度の値を出すものとあり、今回、全指標の値における直近値が出た。

(豊屋会長)

はいそれではただいま事務局からベースライン値について報告がありましたが何か委員の皆様からご質問等はありませんでしょうか。

(徳富委員)

ちょっと目標値の設定のところで質問をさせていただきたいんですが、ちょっと統計学的な知識が弱いので僕の勘違いかもしれないんですけど、回帰直線、回帰直線を引いて目標値を設定されてる指標のところ、回帰直線っていうのが、現状を維持することによって、そのね、最終年度で得られる値ということなんでしょうか。

その目標値、もうイメージですけど目標値というのが、その指標に対して何かの施策をすることで、現状よりも向上を目指すものなのかなと思うので、その回帰は直線。

ただ、目標値を出すっていうのが、それが目標値になるのかと、行政的な目標値っていうのがそういうものだと言われればどうなのかなと思ひまして、もしあれば教えていただきたい

いなと思います。

(豊屋会長)

目標値の設定の方法ということですね。よろしく願いいたします。事務局いかがでしょうか。

(事務局)

目標値の設定につきましては徳富委員の方がおっしゃった内容のとおりの手法で、こちらの方法を設定しております。

令和14年度までの部分というところで、今までの過去のデータを10回分ぐらい積み上げまして、そこを見ているところになっております。

国の設定の方法と同様な方針で定めておりまして、内容的に見ますと、国の方向はもう少しプラスをして、まだまだ口腔の推進を見込んで少し上げるというふうなところも手法とされているところもございましたが、佐世保市におきましては、今、現状のところを積み上げた数値として、今回出させていただいているところになっております。

(徳富委員)

ありがとうございます。

ただ、現状指標に対して現状を維持していくということを目標とするというイメージになるのでしょうか。

(事務局)

現状維持しつつ、増加させたり、減少させたりとかというところで改善を目指ところは、そういう手法でやるっていうところにはなっておりますので、すでに現在、現状値を出したところ、ベースライン値を出しましたら、もうすでに目標値までいってるというところも中にございましたので、そこら辺のところも、今後の内容の修正等を考えていくところにはなっております。

ただし、中間評価の時期に、そこら辺の部分を修正させていくようにしていきたいと思っておりますので、数字が大きく変わりましたらまた、今年度はよかったけど来年度はわからないこともあるため大きく変動があるところとかは、逆行したりとかということもございしますので、ちょっと長い目で見ていただくとところで、この旨で進ませていただけたらと思っております。

(事務局)

補足いいでしょうか。

今の目標値につきましては、今までやってきた事業について、実績値を押しなべて、目標

値を今設定しているところなんです、今までやってきた事業をそのまま続けていけばこの程度になるだろうという目標値であって、今から後で説明させていただきますが、これから行う、目標値指標に対しての事業をやっていく上で、その目標値を上回っていくというところを本来の目標にしているので、目標値については中間評価で、再度見直しをいたしますので、そこを上方修正ができるような事業を展開していくという形になろうかと思えます。よろしくお願ひします。

(豊屋会長)

よろしいでしょうか。他に何かございませんでしょうか。それではないようでしたら次に進みたいと思ひます。

障がい者及び高齢者入所施設アンケート調査結果について事務局から報告をお願いいたします。

(事務局)

高齢者及び障がい者入所施設アンケート案について

(資料2)

【健康づくり課より説明】

(資料2)

- ・第2次佐世保市「歯・口腔の健康づくり推進計画」で、令和12年度の中間評価及び令和16年度の最終評価に用いるベースライン値を把握するために、市内の高齢者入所施設及び障がい者(児)入所施設において、令和6年の11月に実施したアンケート調査結果内容となっている。

(豊屋会長)

それではただいまの説明についてご質問またはご意見等はありませんでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、介護支援専門員の立場から、江濱委員、何かご意見等はありませんでしょうか。

(江濱委員)

私は特養と老健等の方にはおりませんが、今説明がありましたように、当局の方からもそういった加算の算定等々が入ってきております。

そういった中で、本当に施設によってアンケートの結果にもありますように、違いがあるのかなというところがあります。

歯科衛生士さんを、施設の方で雇用をされて取り組みをされているところであったりとか、協力ももらって、全くやってないというところなど確かにばらつきがあるのかなというところ

ではあるんですけども。

口腔とあとリハビリ等というところをセットでというところの動きもあっておりますので、そういった取り組みはずっと強化はされていくのかなというふうには感じております。アンケートの結果の方にもそれが出てるんじゃないかということは思っております。

(豊屋会長)

ありがとうございます。そうですね、結構いろいろ具体的なアンケート内容があってですね、かなり施設によって温度差もあるのかなというふうに感じたところでもあります。

それでは障害者相談支援専門員の立場から、桜井委員いかがでしょう。

(桜井委員)

私もどちらかと言いますと、居宅サービスの部分で、支援に携わっていることが多いので、あまり入所施設に直接携わっている場面で少ないんですけど、率直な意見として出していただいたのかなというふうには受け取っております。

(豊屋会長)

ありがとうございます。他に何かございませんでしょうか。ないようでしたら次の議事に移ります。

実施計画について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

次期「実施計画」について

(資料3・4、参考資料)

【健康づくり課より説明】

(資料3・4、参考資料)

- ・実施計画は、推進計画の11の目標を達成するために市が行う具体的な事業であり、実施計画は、毎年進捗管理や事業の見直し等を行いながら、事前修正をしていき、令和2年、12年度中に見直しをする。
- ・資料4は資料3の事業一覧順に掲載している。
- ・実施計画の見方について説明。

(豊屋会長)

それでは、ただいまの事務局からの説明についてご質問、ご意見はありませんでしょうか。

(田中委員)

実施計画というものは、今回の第2次「佐世保市歯・口腔の健康づくり推進計画」の基本

的な経営方針を、先ほど指標の方を説明していただきましたが、それらの指標を達成するためにやるものという認識でよろしいでしょうか。

(事務局)

はい。その通りでございます。

(田中委員)

ありがとうございます。課長の方からも、目標値の見直しだったりとかそういったところもしっかりその具体的な実施計画の中で進めながら、いろいろ改善等を行っていくという話があったと思いますので、目標を達成する資料3のところの指標というところですね、要は目標をですね、ここに掲げて、いろいろ目標値があってそれを達成するためにいろいろしていくということが、その実施計画の中に取り込まれてるという認識で拝見をさせていただいております。

どうしても今年度に関しては、もう既存の事業、今まで行った事業が入ってるということ、以前説明を受けたんですけども、今後ですね、令和7年度等ですね見直し等を行うということになるとは思うんですが、その指標の中で、なかなか事業を行って、すぐ改善が表れやすい事業と、表れにくい事業というのがあると思います。

例えば、指標の(1)の「3歳児で4本以上のむし歯のない者の割合」というのは、これは様々なアプローチを経て、むし歯の本数の割合っていうのは減っていくっていうようなものだと思います。指標の(1)(2)(3)とかですね、そういったところは、なかなかその指標を目標を達成するためには、様々なアプローチが必要なものだというふうに認識をしております。

ただ、他のアプローチすることによって、改善がすぐ指標と評価として出てきやすいものっていうのもあると思います。

例えば下の基本的な方針5の、「歯科健診を受診した者の割合」というものは、これは健診受診勧奨であったりとか様々な方法を、先ほども商工会議所とですね連携をして何かされてるっていう話がありました。そういったものであったりとか、フッ化物洗口の実施施設の割合とか乳幼児が80%ってとこなんですけど、そういったところは、介入することによって、数値として評価が出て来やすいものになってくると思いますので、そういったところを、重点的というかですね、積極的に介入することが、評価としてすぐ出てくるんじゃないかなって思いますので、実施計画をちょっと見させていただいてるんですけども、今までの事業をですね、こちらの方は入ってるってことになってると思いますが、具体的にその目標として、どういったことをやれば、例えばフッ化物洗口の実施施設が上がるためにはどうしたほうがいいのかっていうところをですね、具体的に考えるといろいろこう答えアイデアが出てくるかなというふうに思います。

それを考える場所がなかなか行政だけでは難しいという、もうこれも以前から僕もいつも

話をさせていただいてるんですけども、その行政だけではなかなかそういう判断であったりとか、アイデアが出にくいので、各団体とかですぬそういったところが一緒になって話し合える場所っていうのをですぬ、ぜひその実施計画を見直したりとかするところなんですぬ、していただけたらというふうに強く思っております。

それと、とですぬ、すいません、ちょっと飛んでしまいました。あとは、具体的に言うと例えば1枚目の「3歳児で4本以上のむし歯のない者の割合」というところで、1歳半の健診っていうところで、目標が「3歳児以上で4本以上のむし歯のない者の割合」というのを、減らすという目標での実施計画っていうふうに認識してるんですが、例えば、3歳児のむし歯を減らすためには、1歳半で歯が出る前からですぬ、教育だったりとか、あとはその妊産婦に対しての教育であったりとかですぬ、そういったところから介入していかなきゃいけないことだと思いますので、例えば具体的にそういういろんなアイデアであったりとかそういったところを出せる場所っていうので、是非ですぬ、行政の方には作っていただきたいというふうに、思っております。すいませんちょっと意見という形になりましたが、以上となります。

(豊屋会長)

はい、事務局の方は何かご意見ありますか。

(事務局)

貴重な意見ありがとうございます。

田中委員の方が言われた通りですぬ、来年度に向け、来年度の協議会の中では、今の実施計画の進捗管理というところで、7年度には今回、1ページ目にある6年度の実績ですぬ。それから、裏面にある7年度の計画、今予算化をするところですが、7年度の計画、それと同時に、今度8年度の計画も合わせてお示しをしようと思っております。もう7年度については、先ほど言われたようにも予算化が進んでおりますのでなかなか事業の修正というのは難しいところがありますので、1年遅れますけれども、その8年度の計画の中で、先ほどお示ししました、(実施計画の)(14)の通り、実施体制であるとか、実施量であるとか、その成果を見ていただいてですぬ、こういう事業がいいとかそういう意見をいただきながら、事前にまた歯科医師の先生方等をはじめ、関係団体の皆さんにもお示しをさせていただいて、随時意見をいただきたいと思っておりますので、今後ともご協力をよろしくお願ひしたいと思ひます。

(豊屋会長)

よろしいでしょうか。それでは次に移りたいと思ひます。

若年者歯科健診事後アンケート調査結果について報告をお願いいたします。

(事務局)

若年者歯科健診事後アンケート調査結果について

(資料5・参考資料)

【健康づくり課より説明】

(資料5・参考資料)

- ・令和6年4月に若年者歯科健診実施後の3か月後に行ったアンケート調査結果について説明。
- ・参考資料2) 3) 4) は若年者歯科健診実施に併せて長崎短期大学の先生が調査した結果となる。
- ・参考資料2) は歯周病と妊娠に係る調査結果であり、妊娠前の低体重が妊娠トラブルの原因となる可能性があることや妊娠前にむし歯や歯周病を予防しておいた方がいいことは約半数以上が知っているが、歯周病が妊娠と関係しているということを知っている人は約3割しかいなかった。
- ・参考資料3) 4) はカルシウム摂取についての調査結果であり、1日3食摂取している人の方が欠食している人よりもカルシウムの摂取量が高かった。

(豊屋会長)

それではただいまの事務局からの説明についてご質問ご意見等はございませんでしょうか。

(長崎大学入江教授)

ご説明ありがとうございます。

まず、大学生における歯科健診をやるって非常に珍しい活動だと思うんですけども、どういうきっかけでこういう働きをされたのかすごい気になりますけれども、教えていただけますでしょうか。

(事務局)

若年者歯科健診は、ライフコースアプローチを踏まえて、市民の歯口腔の健康の保持を推進させるために、学校歯科健診として法的な歯科健診が終了した後、大学進学や就職等により、歯科健診が途切れることから、歯科口腔保健の推進に重点を置いて実施していくものであり、令和6年度を始期とする第2次「佐世保市歯・口腔の健康づくり推進計画」の中にもあります指標の中にも、「18歳以上における未処置を有する者の割合」や、「18歳以上から30歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合」を掲げていますので、現状値把握も兼ねて行うために実施しました。併せて、歯科疾患等の早期発見・早期予防のため、若いときから歯科健診を実施し、その後の行動変容につなげていくことを目的として実施をしたものになります。

(長崎大学入江教授)

ありがとうございます。

健診の受診率が、そんな高くないかなというイメージなんですけれども、私がいた岡山大学でも歯科健診というのはやっていたんですけれども、内科の検診の横に歯科のブースを置いてやったりしたんですけど、実際どのような感じで歯科健診はされたのでしょうか。

(事務局)

同じように、内科の検診、健康診断がありましたので、その横に設置をさせていただいて実習しました。

(長崎大学入江教授)

わかりました。

高校生までは毎年歯科健診をして、大体、口の中も安定していくんですけども、やっぱり親元を離れたりとすとか、社会人になって働き出すと、一気にむし歯が増えたり、歯周病の基になる歯肉炎などが増加することがわかっていますので、ぜひ継続してこの事業をしていただいて、ゆくゆくはやっぱり、いわゆる働く世代の歯科健診も、今、国も全力を挙げてやっていると思うんですけど、そういう働きにつなげていただけたらなと思いました。

(豊屋会長)

他に何かございませんでしょうか。

私も、なかなかこういった大学生の健診結果っていうのはあまり見たことがないんで大変興味深く見させていただきました。お金がないなんていうのはまさしく大学生の実態なのかなあというふうに思ったりしていました。

できればなんかね、継続的にやって少しまとめられると、面白い結果が出るのかなというふうに思いました。

他はございませんでしょうか。ないようでしたらこれで質疑を終了したいと思います。

それでは、本日この場で協議したことを集約いたします。

今回の議事は第2次「佐世保市歯・口腔の健康づくり推進計画」におけるベースライン値の数値について、入所施設アンケート調査結果、実施計画、若年者歯科健診事後アンケート調査結果についてそれぞれ事務局からの説明と、皆様からのご意見をいただきました。

それでは最後にせっかくご出席いただきました長崎大学の入江教授、今少しご意見ありましたが全体的に参加された感想と、お聞かせいただければと思いますよろしく願いいたします。

(長崎大学入江教授)

ありがとうございます。

偶然にもですね昨日、長崎県の健康づくり推進協議会に参加したんですけれども、僕は長崎に1月に来たばかりなんですけども、一番驚いたのは、フッ化物洗口が100%やっているということで、それは全国で新潟、佐賀ぐらいですかね、すごく珍しい取り組みですので、是非これを、しっかりとデータをとってロールモデルとして全国に広げていただけたらなと思ったのが1つと、あとやっぱり、歯周病が進行する、発症進行するのは大体、今20歳後半、30歳前後だと最近わかってきていますので。

いわゆる歯周病が出現し出すのは40歳ぐらいなんですけども徐々に歯周病ってのは進行していきますので、できればこの20歳代、30歳代のうちに、なるべく年に1回、健診に行くような取り組みをしていただくと、そういう若い方々が将来20年30年後でも、8020はもう皆さんなってきたるんですけど、もっと上を目指せるのではないかと。

今、口腔衛生学会に所属しているんですけど、今は80歳で28本を目指そうという流れになっておりますので、是非、それを佐世保発として目指していけたらいいんじゃないかなと思います。ありがとうございました。

(疊屋会長)

ありがとうございました。

それでは、これで本日予定しておりました議事はすべて終了いたしましたので、議長の任を降りたいと存じます。皆様のおかげをもちまして、つつがなく進行ができましたことを感謝申し上げます。それでは他にございませんでしょうか。

3 閉会

(事務局)

疊屋会長はじめ、委員の皆様におかれましては、本日お忙しい中、会議にご出席いただきましてありがとうございました。

今後は、今回、協議いただきました、ベースライン値をもとに、目標値を設定いたしまして、この目標値を達成すべく、事業を進めていくこととなりますので、今後も引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

次回の協議会は、7年度になります。7月頃に、開催を予定しておりますので、改めましてご案内をさせていただきます。

以上をもちまして令和6年度第2回「佐世保市歯・口腔の健康づくり推進協議会」を閉会いたします。ありがとうございました。